

平成15年度全国自作視聴覚教材コンクール

小学校部門 優秀賞

種別 CD-ROM (HTML形式)

小学校第4学年社会科地域学習教材

わたしたちの宮城県

～宮城県を発見しよう 人々の思いは何だろう～

わたしたちの宮城県
宮城県を発見しよう ～人々の思いは何だろう～

- 宮城県発見
- 地形のようす
- 交通のようす
- 仙台市へ
- 特色のある町
- 歴史を伝える
- 人口と面積



本ホームページを見るためには、FLASHPLAYER5・QuickTime5以上が必要です。
Copyright© 2003 norikazu tomita. All rights reserved.



<http://www2.sendai-c.ed.jp/higasen/miyagi/index.html>

仙台市立東仙台小学校視聴覚教材制作グループ

代表 富田 則和

佐藤 敏雄

平 和紀

制作の意図

新学習指導要領では、第3、4学年の社会科の学習として地域教材を多く取り入れることにより、児童が地域に根差し、地域への正しい理解と地域社会の一員として愛着が育つことを期待している。また、事例選択による問題解決的な学習により、事例を通して応用性のある知識を育てることをねらいとしている。そのためにも調べ学習教材の多様化の一つの手段として、Webコンテンツの充実が急務となっている。

本校においては、Webコンテンツの充実と授業での活用方法を研究している。昨年度は自作教材「わたしたちの仙台市」を開発し、第3学年の社会科の調べ学習に活用し、児童のコンピュータリテラシーを高めることができた。その他にも「梅田川の歴史」や「東仙台小学校の歴史」などを自作し、総合的な学習などに活用している。

今年度は、社会科地域教材を充実させるため、第4学年を対象とする宮城県の調べ学習教材「わたしたちの宮城県」を開発することになった。ブロードバンドの急速な普及に対応して、前作よりも画面サイズを大きくしたり、写真をより鮮明なものにしたりして、調べ学習教材として情報量を増やした。

制作する前の県内の取材活動を通して、各市町村で歴史や生産物などをテーマに、特色ある町づくりに取り組んでいる実態が分かってきた。また、自然環境を守ろうとする様々な取り組みも発見することができた。県内の今の姿と地域の人々の町おこしへの思いをいかに児童に伝えることができるか内容をよく吟味した。その上で、社会的事象を考える手助けになるWebコンテンツが開発できないかと考え、制作をした。なお、Web上に公開することにより、仙台市内や宮城県内で学習に活用され、意見や要望を取り入れて、随時更新している。

使用方法

1 対象学年と内容

基本的には、小学校第4学年の社会科の単元「わたしたちの県」の調べ学習教材として開発した。その他にも、中学校での総合的な学習に利用したいとの声もあった。

2 動作環境

(1) 画面サイズ

画面サイズは、800×600なので、15インチ液晶モニターの場合、全面表示でスクロールなしで見ることができる。

(2) 推奨ブラウザ

インターネットエクスプローラ5.01以上かネットスケープナビゲーター4.7以上

(3) プラグイン

一部フラッシュによるアニメーションがあるので、フラッシュプレーヤー5以上（トップページにリンクが貼ってある）か、エクスプローラ5.01以上ならば再生できる。

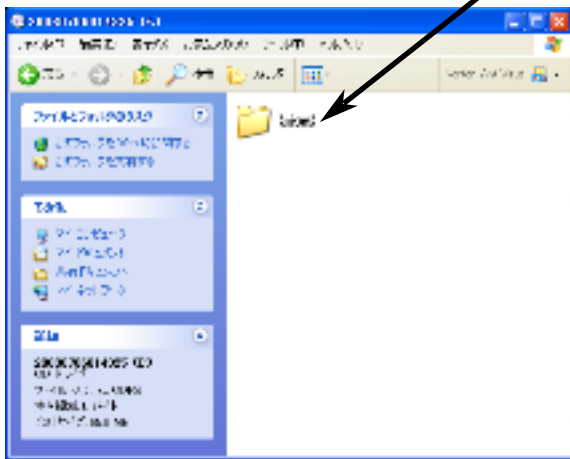
(4) 動画の再生（トップページにリンクが貼ってある）

ページによっては、10秒ほどの動画がある。これは、アップル社のクイックタイムをダウンロードすることによって見ることができる。

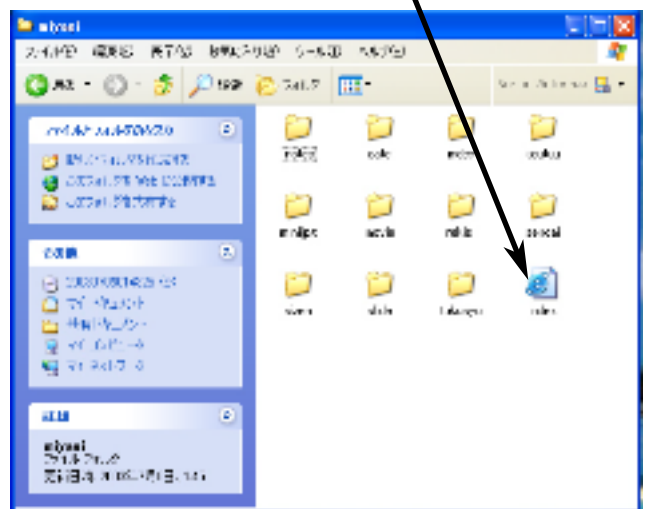
3 操作の仕方

(1) ファイルの開き方

マイコンピュータのCDを開き，miyagiのフォルダーをクリックする。



index をクリックする



(2) ページの進め方

基本的には，ボタンをクリックすることで，目的のページへ進むことができる。また，ページ内のボタンによっては，そのページ内に写真などを表示させることができ，次のページの内容のガイド役を果たすようになっている。

目次から進む各トップページは，「宮城県発見」と「仙台市」，「宮城県データ」以外は地図上にボタンを配置し，そこから目的のページへ進むことができるようになっている。

(3) 動画の再生

再生，停止，巻き戻しなどは，ビデオのボタン感覚で操作できる。



巻き戻し 停止 再生 終わりへ

4 ページの構成 (188ページ)

(1) 目次 表紙にトップページがあります。

(2) 宮城県発見

スライドショーによる宮城県の紹介



宮城県の花 宮城野はぎ

宮城県へ



伊豆沼 内沼の白鳥

宮城県へ



中新田 伝統を伝える

宮城県へ

第4学年社会科学学習指導案

1 小単元名 「県の広がりとくらし」

2 小単元の目標

県の形や仙台市の地理的位置，県全体の地形や主な産業の概要，交通網の様子や主な都市の位置を資料を活用したり，白地図にまとめたりして調べ，県の特色を考えるとともに，県内に住む人々の生活が国内の他の地域や外国と深く結び付いていることを理解できるようにする。

3 小単元の評価規準

【関心・態度】県内の地形や産業・交通の様子やその中心になっている都市を調べることを通して，県内の人々の生活の様子に関心をもつ。

【思考・判断】県内の交通や人々の生活の様子から，国内の他の地域や外国との関わりを考えることができる。

【観察・資料】本やパンフレット，インターネットを活用して調べ，文章や地図などにまとめることができる。

【知識・理解】県内の人々の生活は，国内の各地や外国と深くつながっていることを理解することができる。

4 小単元と本教材の活用について

児童は，第3学年で仙台市特色ある地形や土地利用の様子，主な公共施設や交通の様子などを観察，調査してきた。調べ学習教材としてWebコンテンツ「わたしたちの仙台市」を活用し，インターネットを利用して調べる能力も高まってきている。

本小単元では，取り上げる地域を宮城県に広げ，地形，産業，交通の様子を調べる活動を通して，人々の生活が他の地域や外国と結びついていることを考えさせることをねらいとしている。

「わたしたちの宮城県」は，児童のこのような調べ学習を補助するものとして開発したものである。宮城県発見・地形・交通・仙台市・特色のある町・歴史・人口と面積の7項目に分けて，児童が調べたいものを選ぶことができるようになっている。

宮城県発見は，2分ほどのスライドショーで，宮城県の各地の様子を紹介している。宮城県を調べる前の段階として，児童の動機づけになるものと考えた。

「地形のようす」から「歴史を伝える」までは，地図上のボタンから目的のページに進むことができるようになっている。写真と文章が基本になっているが，ページによっては，ロールオーバーイメージでボタン探しや写真の切り替えができるようになっている。また，祭りの様子や，電車の動きなど動画で見た方が効果的なページでは，簡単な操作で動画を見ることができるようになっている。

本Webコンテンツは，188ページと情報量が多いため，閲覧するだけでもかなりの時間を要する。授業では，児童にポイントを絞って調べさせる方法とグループごとに調べる項目を決めさせる複線型の授業が考えられる。また他校の活用例として，導入部分で事前に担任がページを一巡りして10問の問題を作り，それを子供たちが探すオリエンテーリング的な活動を行ったという報告もあった。

6 本時の指導

(1) ねらい

「わたしたちの宮城県」の宮城県発見や仙台市、特色のある町を見ることによって、宮城県の概略を知ることができる。

(2) 指導過程

学習活動	教師の支援	教材活用と評価
1 「わたしたちの宮城県」を使った調べ方を知る。 ・目次から目的のページを探す。 ・ボタンによるページの移動。 ・ボタンによる写真の表示。	・教材の使い方をモニター上で示し、下記の項目の操作の仕方を理解させる。 ・ボタンをクリックしてページを移動する。 ・ポインターをボタンに置くと写真が表れる。	・本教材は、特別な操作方法を覚えなくも、ボタンを直感的に操作することで、児童自身が様々な発見ができるようになっている。
2 宮城県発見を見る。 ・宮城県の自然 ・町おこし ・伝統を守る	・BGMが入っているので、音量を絞らせるか、ヘッドホンを利用させる。 ・導入部分なので、しっかりと見させる。	・宮城県発見は、スライドショーで宮城県の概略を知らせるもので、2分間の内容である。
3 仙台市のページを見る。 ・駅前のような ・商店街のような ・宮城県庁 ・区のような	・仙台市のことを再確認させた上で、宮城県の他の地域と比べる材料とする。	・仙台市だけでも20ページあるので、祭りのページは、後日見させる。
4 特色のある町のページを見る。 ・唐桑 ・鳴子 ・石巻 ・古川 ・亘理	・地図上に配置されたボタンから、目的のページを探させる。 ・児童が自分で調べようとする意欲を大切にする。	・70ページあるので、見るページを指定してもよい。 ・動画には、音声もあるのでコンピュータのボリューム調節を行っておく。
5 宮城県のことで気付いたことや調べたいことを発表する。	・これからの宮城県の調べる学習の意欲を高めさせる。	

(3) 評価

「わたしたちの宮城県」の宮城県発見や仙台市、特色のある町を見ることによって、宮城県の概略を知ることができ、宮城県の調べようとする意欲が高まったか。